

流通コストの低減

飼料用米の利用拡大のための機械・施設整備等に対する支援

- 産地で必要とされている飼料用米保管施設(カントリーエレベーター、飼料保管タンク、飼料用米保管庫等)の整備を支援。なお、施設整備に伴う産地の負担を軽減する観点から地域の既存施設の有効活用を図ることが基本。
- 畜産農家が飼料用米を利用するため必要な機械の導入や施設の整備を支援。

● 強い農業づくり総合支援交付金(令和6年度予算額:121億円の内数)

稲作農家が受益となる施設

→ 飼料用米の生産拡大に対応するための施設の新設・増築や機能向上を支援。
(※単独施設での整備も可能だが、周辺に利用率が低い施設があれば、複数施設の再編を行う。)

例1:飼料用米のカントリー エレベーターを新設



例2:カントリーエレベーターを 増築し、飼料用米にも対応



畜産農家が受益となる施設

→ 自給飼料(飼料用米を含む)生産拡大に対応するために必要な保管・加工施設等の整備を支援。
(※長期の利用供給に関する協定を締結すること等が条件。)

例:TMRセンターに飼料用米 保管タンクを増設



● 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(令和5年度補正(所要額):291億円の内数) (畜産クラスター事業)

→ 畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体(畜産農家、飼料生産組織等)が飼料用米の保管・加工・給餌するために必要な機械の導入、施設整備等を支援。

例:米粉砕機、飼料保管タンク、混合機等の導入



飼料用米の乾燥・調製・保管場所の確保にかかる事例

- 多収品種に取り組む産地の中には、
 - ① 空きのできた既存の主食用米倉庫の一部に保管している事例
 - ② 既存のカントリーエレベーター(CE)・ライスセンター(RC)の再編利用により新たな投資を最小限に抑えながら保管場所を確保している事例
 - ③ 地域内で一定量の飼料用米の生産拡大が見込めるとして新たに飼料用米専用のCEを建設している事例がある。
- 畜産側では、飼料の自家配合を行う比較的規模の大きな農家が飼料用米保管タンクや倉庫を設置している事例がある。

産地側

① 既存倉庫の利用 (栃木県内のJAの事例)

- ・空きが生じた主食用米の倉庫の一部を利用。
- ・フレコンに品種名を明記し、倉庫内での分別保管を徹底。



(イメージ)

②-1 既存CE・RCの再編利用

- ・管内14ヶ所のCE及びRCのうち、老朽化した1ヶ所のCEを改修し、飼料用米の調製保管施設として利用。
- ・管内のRCや個人で乾燥した粒を施設のサイロBINに集約保管し、需要先の利用形態に応じて粒摺りをして出荷。地域の飼料用米流通の拠点施設となっている。

(秋田県内のJAの事例)



(「平成21年度強い農業づくり交付金」を活用)

※ 令和6年度の場合、「強い農業づくり総合支援交付金」を活用可能

②-2 既存CE・RCの再編利用

(熊本県内のJAの事例)

- ・地域のCE・RCの再編に伴い、既存のCEにサイロ等を増設し、主食用米と飼料用米とを区分して管理。市内で生産する飼料用米は当施設で一元的に処理。
- ・飼料用米の区分集出荷体制を確立し、主食用米への混入を防止。



(「平成21年度強い農業づくり交付金」を活用)

※ 令和6年度の場合、「強い農業づくり総合支援交付金」を活用可能

③ 飼料用米専用CEの新設

(宮城県内のJAの事例)

- ・年間を通じて均質な飼料用米を供給できる体制を構築するため、平成24年に飼料用米専用のCEを新設。
- ・これまで管内の11ヶ所のRCで行われていた飼料用米の乾燥調製を本CEに集約化するとともに、老朽化した4ヶ所のRCを閉鎖するなど施設の再編合理化も実施。



(「平成23年度戦略作物生産拡大関連施設緊急整備事業」を活用)

※ 令和6年度の場合、「強い農業づくり総合支援交付金」を活用可能

畜産側

畜産農家における飼料用米保管タンクの設置

(山口県内の養鶏農家の事例)

- ・飼料用米専用の保管タンクを整備し、飼料用米の集荷・保管等を一元管理することによりコストを削減。
- ・地域の耕種農家と連携して、飼料用米の生産・利用ネットワークを構築。



(「平成28年度畜産クラスター事業」を活用)

※ 令和6年度の場合、「畜産クラスター事業」を活用可能

畜産農家における飼料用米保管施設の設置

(鹿児島県内の養豚農家の事例)

- ・飼料用米保管施設を2棟整備。
- ・飼養する肥育豚約10,300頭に、年間約189tの国産飼料用米を給与できる体制を構築。

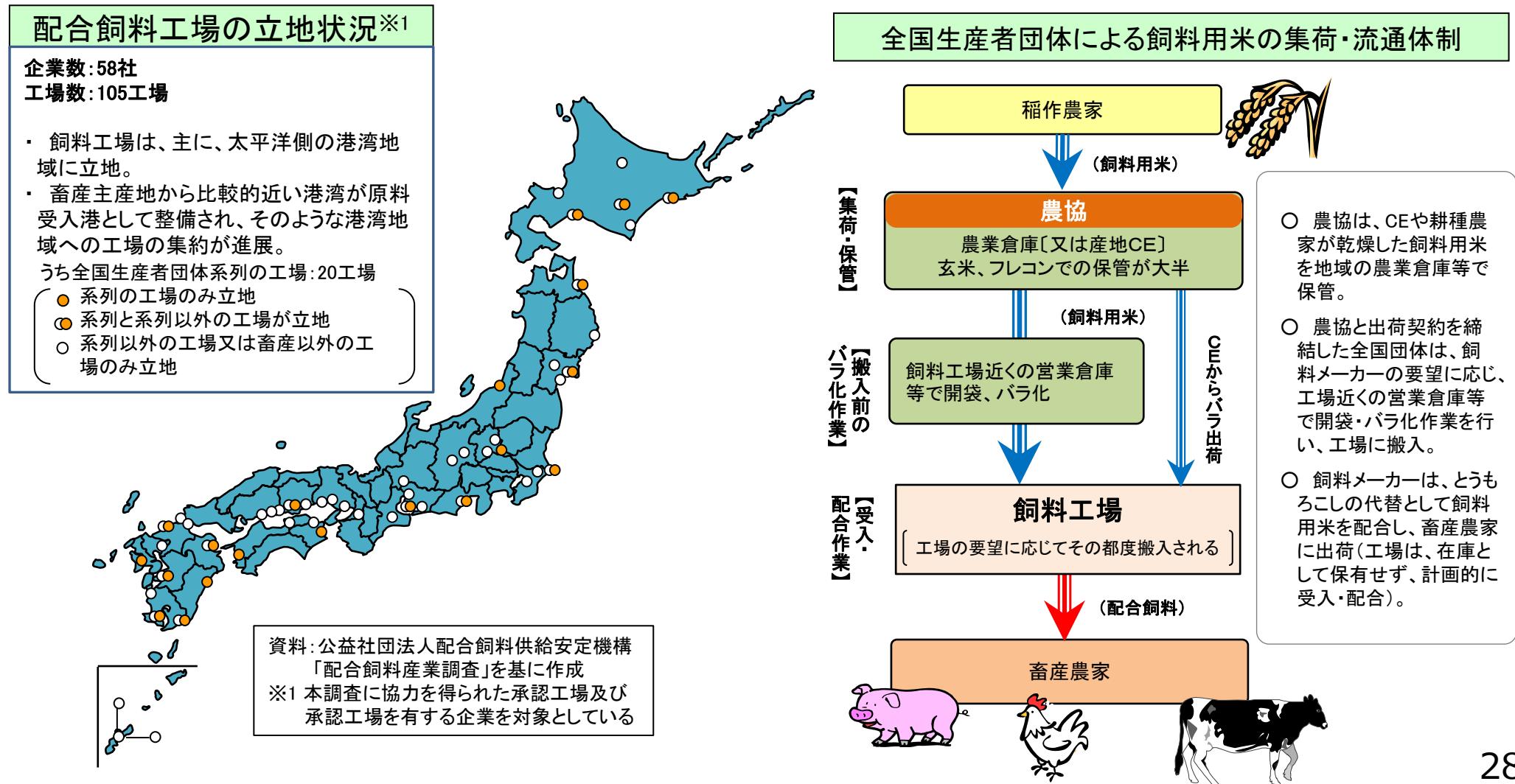


(「平成29年度強い農業づくり交付金」を活用)

※ 令和6年度の場合、「強い農業づくり総合支援交付金」を活用可能

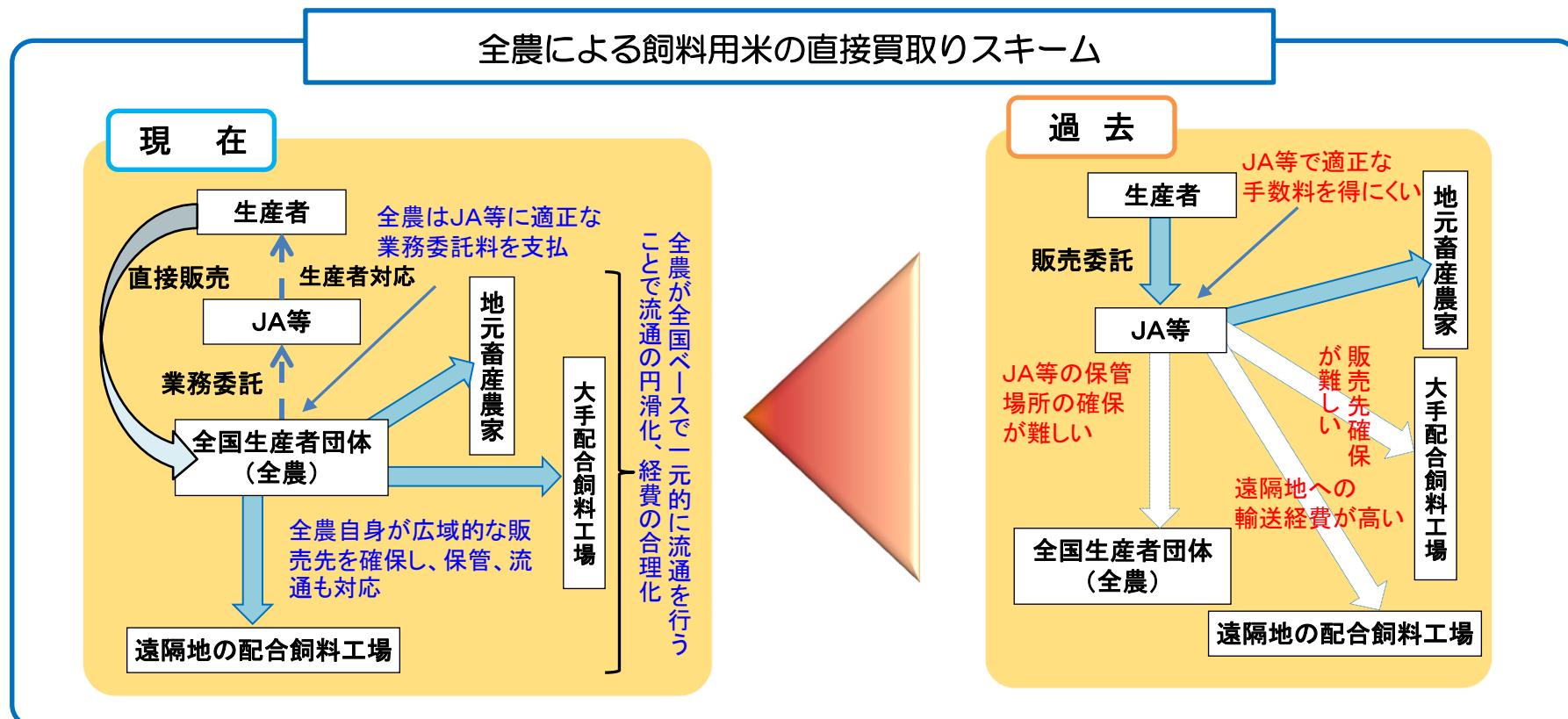
配合飼料メーカーの立地状況と飼料用米の集荷・流通体制

- 飼料用米の産地は全国に存在するが、配合飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地が集中。
- 飼料用米については、生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制が確立されていることから、稻作農家自らが需要先の確保や配合飼料工場への供給に携わらずとも、飼料用米の生産に取り組むことが可能。



全国生産者団体による集荷・流通について

- 全国生産者団体(全農)は、飼料用米を生産者から直接買い取り、自ら保管・流通・販売する仕組みを創設し、運用している。
- 全農に出荷された米の輸送経費は、基本的には輸送距離に応じて高くなるが、契約した運送業者等における帰り荷の有無等も影響するため、輸送距離のみによって決まるものではない。
- 流通経費は、一般的に金利・倉敷料や販売手数料等の他の経費と合わせて計算され、生産者が受け取る販売代金から差し引くことで精算されている。



※ 農林水産省では、全国生産者団体(全農)が創設した仕組みの運用を可能とするため、「米穀の出荷販売業者が遵守すべき事項を定める省令」(平成21年11月5日農林水産省令第63号)を一部改正(平成26年11月公布、平成27年2月施行)

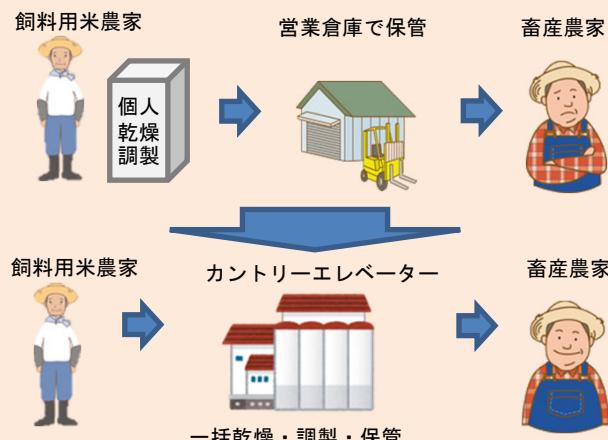
流通コストの低減に向けた取組

- 需要に応じた飼料用米の生産拡大に向けては、生産コストの低減に加え、流通コストの削減に取り組むことが重要。
- このため、先進的な地域では、
 - ① 個人乾燥・調整、民間倉庫保管から、CE等の共同管理体系を導入したことによる保管コストの低減(例①)
 - ② 帰り便活用のため、バルク車が横付けできるストックポイントの設置による保管・輸送コストの低減(例②)
 - ③ 遠隔地の配合飼料工場には運ばず、現地配合施設の設置による輸送コストの低減(例③)といった取組みが行われている。

CEに飼料用米専用施設を増設 (例①)

- 管内のカントリーエレベーター(CE)に飼料用米専用の乾燥・保管施設を増設
- 個人乾燥・営業倉庫保管体系と比べ、保管に係るコストを低減

【熊本県の事例】

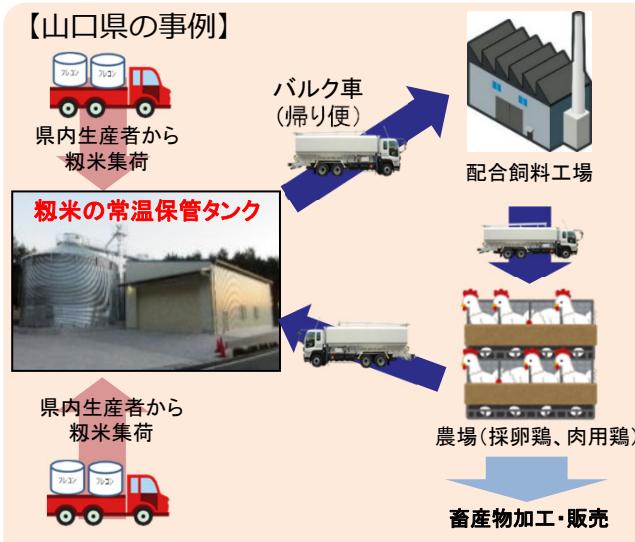


飼料用米の保管コストの低減

ストックポイント設置と 帰り便の活用 (例②)

- 農場内に粉米の常温保管施設を整備し、保管に係るコストを低減
- 飼料運搬車の帰り便を活用し、配合飼料工場に運搬することにより、輸送に係るコストを低減

【山口県の事例】



飼料用米の保管・輸送コストの低減

現地配合による輸送費の 削減 (例③)

- 大手飼料メーカーが基礎飼料を供給
- 基礎飼料を入れた配合飼料運搬車に粉米を添加・混合し、現地配合により輸送に係るコストを低減

【広島県の事例】



輸送コストの低減（産地で粉米を配合）30

飼料用米を活用した畜産物のブランド化

飼料用米を活用した畜産物の高付加価値化に向けた取組

- 飼料用米の利活用に際しては、単なる輸入とうもろこしの代替飼料として利用するのみならず、その特徴を活かして畜産物の高付加価値化を図ろうとする取組が見られる。
- 国産飼料であることや水田の利活用に有効であること等をアピールしつつ、飼料用米の取組に理解を示す消費者層等から支持を集めつつある。

日本の米育ち 平田牧場金華豚・三元豚

- 事業者名:株式会社平田牧場
(山形県酒田市みずほ2丁目)
- 畜産物販売:ネット通販、直営店等
- ブランドの概要
飼料用米を活用した畜産物ブランド化の先駆者として日本最大規模を誇る。大学、研究機関等と連携し、飼料設計や給与技術の改善、肉質向上に取組み、全ての豚が飼料用米を活用(肥育前期15%、後期30%)また、生産・流通・販売まで一貫して行うことで、収益性の高い高付加価値化を図っている。



日本のこめ豚、米っこ桃豚

- 事業者名:ポークランドグループ
(秋田県鹿角郡小坂町)
- 畜産物販売:ネット通販、スーパー等
- ブランドの概要
「農業で幸せになろう」を合言葉に、畜産を中心とした循環型農業を推進。地元産の飼料用米を使用した豚肉を「日本のこめ豚」として全国に販売、また県内のスーパーでは「米っこ桃豚」として販売している。飼養する全ての豚に離乳後から10%、肥育後期には30%の飼料用米を与えており、



オクノの玉子

- 事業者名:株式会社オクノ(兵庫県加古川市八幡町)
- 畜産物販売:ネット通販、直売所、ホテル等
- ブランドの概要
飼料用米のほか、釧路産サンマ魚粉や赤穂の塩など、厳選した国産原料を自家配合して給与。実需者とは直接契約で年間固定価格で安定取引。ホテル等で定期開催される産直マルシェをプロデュースし、オクノの玉子の素材へのこだわりをPRしている。
飼料用米の配合割合は30%。



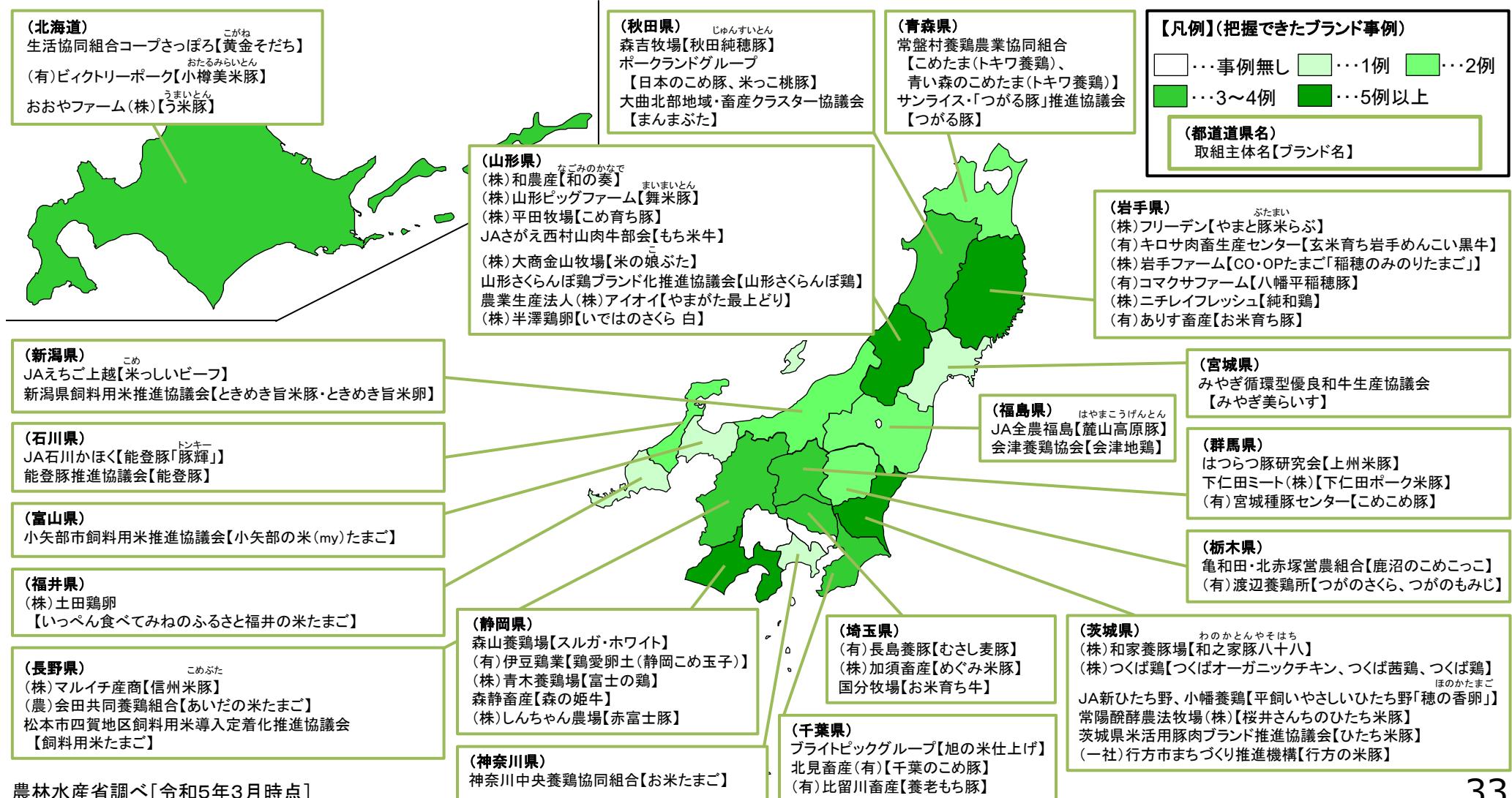
エムケイさんちのお米豚

- 事業者名:有限会社エムケイ商事
(宮崎県都城市神之山町)
- 畜産物販売:スーパー、ネット通販等
- ブランドの概要
宮崎県都城市を中心とした南九州で収穫された国産飼料用米を主に使用し、集荷・検査・保管、配合飼料メーカーへの輸送・製造、直営農場での豚への給餌まで、一貫した管理体制を実施。「楽天市場ふるさと納税人気お礼の品」2019年年間ランキングで第4位を獲得。
飼料用米の給餌割合は20%。

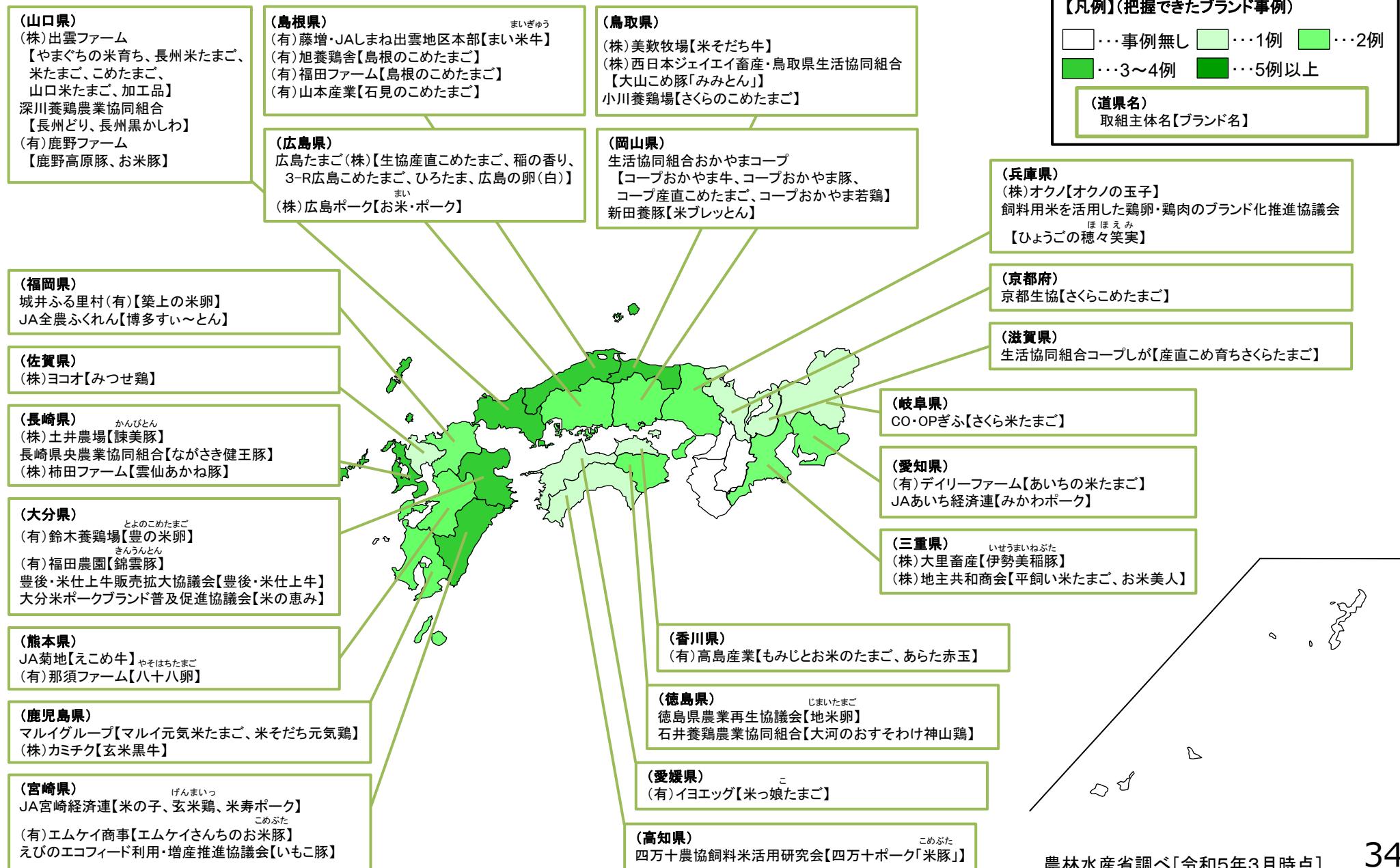


飼料用米を活用した畜産物のブランド化事例①

- 飼料用米の利活用に際しては、輸入とうもろこしの代替としての位置づけを超えて、その特徴を活かし畜産物の高付加価値化を図ろうとする取組が見られる。(41道府県102事例)
- 国産飼料であることや水田の利活用に有効であること等に理解を示す消費者層等から支持を集めている。



飼料用米を活用した畜産物のブランド化事例②



參考資料

飼料用米の作付面積・生産数量等の推移

【飼料用米の作付・生産状況】

| 年 産 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 作付面積 (万ha) | 0.1 | 0.4 | 1.5 | 3.4 | 3.5 | 2.2 | 3.4 | 8.0 | 9.1 | 9.2 | 8.0 | 7.3 | 7.1 | 11.6 | 14.2 | 13.4 |
| 生産量 (万トン) | 0.8 | 2.3 | 6.8 | 16 | 17 | 11 | 19 | 44 | 51 | 50 | 43 | 39 | 38 | 66 | 80 | — |

※平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

【飼料用米の供給先別供給量の推移】

(万トン)

| 年 産 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 飼料用米生産量 | 19 | 44 | 51 | 50 | 43 | 39 | 38 | 66 | 80 |
| うち、配合飼料メーカーへの供給量 | 10 | 32 | 37 | 35 | 31 | 27 | 29 | 49 | 61 |
| うち、畜産農家への供給量 | 9 | 12 | 14 | 15 | 12 | 12 | 9 | 17 | 19 |

令和5年産飼料用米の出荷方式、品種別面積

単位:ha

| | 作付面積 | 出荷方式別面積 | | | | 飼料用米の品種別面積 | | | |
|-----|--------|---------|-----|--------|-----|------------|-----|-------|-----|
| | | 一括管理 | 割合 | 区分管理 | 割合 | 一般品種 | 割合 | 多収品種 | 割合 |
| 北海道 | 6,788 | 740 | 11% | 6,048 | 89% | 1,657 | 24% | 5,131 | 76% |
| 青森 | 7,930 | 101 | 1% | 7,830 | 99% | 1,630 | 21% | 6,301 | 79% |
| 岩手 | 5,739 | 437 | 8% | 5,301 | 92% | 1,205 | 21% | 4,534 | 79% |
| 宮城 | 9,801 | 991 | 10% | 8,810 | 90% | 8,660 | 88% | 1,141 | 12% |
| 秋田 | 4,265 | 1,480 | 35% | 2,785 | 65% | 2,740 | 64% | 1,525 | 36% |
| 山形 | 5,138 | 854 | 17% | 4,284 | 83% | 1,215 | 24% | 3,923 | 76% |
| 福島 | 11,722 | 3,716 | 32% | 8,006 | 68% | 9,181 | 78% | 2,541 | 22% |
| 茨城 | 13,886 | 1,760 | 13% | 12,126 | 87% | 9,395 | 68% | 4,491 | 32% |
| 栃木 | 15,069 | 107 | 1% | 14,962 | 99% | 14,538 | 96% | 531 | 4% |
| 群馬 | 1,661 | 603 | 36% | 1,058 | 64% | 1,585 | 95% | 76 | 5% |
| 埼玉 | 3,605 | 1,697 | 47% | 1,908 | 53% | 2,829 | 78% | 776 | 22% |
| 千葉 | 10,154 | 3,661 | 36% | 6,492 | 64% | 5,207 | 51% | 4,946 | 49% |
| 東京 | 0 | | | | | | | | |
| 神奈川 | 13 | 12 | 92% | 1 | 8% | 12 | 92% | 1 | 8% |
| 新潟 | 4,032 | 1,576 | 39% | 2,456 | 61% | 2,062 | 51% | 1,970 | 49% |
| 富山 | 2,096 | 177 | 8% | 1,919 | 92% | 1,189 | 57% | 907 | 43% |
| 石川 | 1,131 | 125 | 11% | 1,006 | 89% | 738 | 65% | 393 | 35% |
| 福井 | 1,976 | 256 | 13% | 1,720 | 87% | 834 | 42% | 1,142 | 58% |
| 山梨 | 21 | 4 | 20% | 17 | 80% | 8 | 38% | 13 | 62% |
| 長野 | 429 | 224 | 52% | 205 | 48% | 239 | 56% | 189 | 44% |
| 岐阜 | 3,496 | 1,598 | 46% | 1,898 | 54% | 2,383 | 68% | 1,114 | 32% |
| 静岡 | 1,011 | 22 | 2% | 989 | 98% | 338 | 33% | 674 | 67% |
| 愛知 | 2,040 | 1,399 | 69% | 640 | 31% | 1,787 | 88% | 253 | 12% |
| 三重 | 2,426 | 234 | 10% | 2,192 | 90% | 1,345 | 55% | 1,081 | 45% |

注1：東京都では飼料用米の作付けはない。

注2：「一括管理」とは主食用米と同一のほ場で飼料用米を生産する管理方法であり、「区分管理」とは主食用米を生産するほ場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける管理方法である。

注3：「多収品種」とは「国の委託試験等によって育成され、一般品種と比べ子実の収量が多いことが確認された品種」及び「一般的な品種と比べて子実の収量が多く、当該都道府県内で主に主食用以外の用途向けとして生産されているもので、全国的にも主要な主食用品種でないもののうち、知事の申請に基づき地方農政局長等が認定した品種」である。

| | 作付面積 | 出荷方式別面積 | | | | 飼料用米の品種別面積 | | | |
|-----|---------|---------|------|---------|------|------------|------|--------|------|
| | | 一括管理 | 割合 | 区分管理 | 割合 | 一般品種 | 割合 | 多収品種 | 割合 |
| 滋賀 | 2,033 | 311 | 15% | 1,722 | 85% | 1,211 | 60% | 822 | 40% |
| 京都 | 133 | 1 | 1% | 132 | 99% | 41 | 30% | 92 | 70% |
| 大阪 | 6 | 6 | 100% | 0 | 0% | 6 | 100% | 0 | 0% |
| 兵庫 | 819 | 8 | 1% | 811 | 99% | 277 | 34% | 542 | 66% |
| 奈良 | 50 | 11 | 22% | 39 | 78% | 42 | 85% | 8 | 15% |
| 和歌山 | 3 | 1 | 37% | 2 | 63% | 1 | 37% | 2 | 63% |
| 鳥取 | 821 | 0 | 0% | 821 | 100% | 18 | 2% | 804 | 98% |
| 島根 | 804 | 0 | 0% | 804 | 100% | 86 | 11% | 718 | 89% |
| 岡山 | 1,824 | 738 | 40% | 1,086 | 60% | 1,184 | 65% | 640 | 35% |
| 広島 | 443 | 24 | 5% | 420 | 95% | 164 | 37% | 279 | 63% |
| 山口 | 1,108 | 0 | 0% | 1,108 | 100% | 282 | 25% | 826 | 75% |
| 徳島 | 1,007 | 564 | 56% | 443 | 44% | 639 | 63% | 368 | 37% |
| 香川 | 195 | 20 | 10% | 175 | 90% | 101 | 52% | 94 | 48% |
| 愛媛 | 344 | 68 | 20% | 276 | 80% | 131 | 38% | 213 | 62% |
| 高知 | 1,135 | 149 | 13% | 986 | 87% | 930 | 82% | 205 | 18% |
| 福岡 | 2,475 | 0 | 0% | 2,475 | 100% | 1 | 0% | 2,474 | 100% |
| 佐賀 | 829 | 0 | 0% | 829 | 100% | 159 | 19% | 671 | 81% |
| 長崎 | 117 | 8 | 7% | 109 | 93% | 56 | 48% | 61 | 52% |
| 熊本 | 1,646 | 25 | 1% | 1,622 | 99% | 304 | 18% | 1,342 | 82% |
| 大分 | 1,932 | 0 | 0% | 1,932 | 100% | 252 | 13% | 1,680 | 87% |
| 宮崎 | 887 | 9 | 1% | 879 | 99% | 336 | 38% | 551 | 62% |
| 鹿児島 | 880 | 118 | 13% | 762 | 87% | 527 | 60% | 353 | 40% |
| 沖縄 | 3 | 3 | 100% | 0 | 0% | 3 | 100% | 0 | 0% |
| 合計 | 133,925 | 23,838 | 18% | 110,086 | 82% | 77,527 | 58% | 56,398 | 42% |

飼料用米の加工と給与方法

- 牛や豚に飼料用米を給与する場合、消化性を向上させるために破碎や蒸気圧ペん等の加工処理が必要。
- 鶏については、砂嚢(さのう)※を有するため、糊摺をしないで粒の糊米をそのまま給与することが可能。
- 最近では、糊摺や乾燥調製をしない低成本の取組として、破碎した糊米に水と乳酸菌を加え密封し、発酵させたSGS(ソフトグレインサイレージ)も一部地域で行われている。
- 飼料用米の利用を進めることで、海外のとうもろこしの状況に左右されにくい国産飼料に立脚した畜産経営が可能。
※砂嚢:歯を持たない鳥類が、飲み込んだ砂や小石とともに食物をすりつぶす器官。「筋胃」「すなぎも」とも呼ばれる
- 畜種別の飼料用米の利用形態と利用に当たっての留意点等

| 畜種 | 利用形態 | 飼料用米の利用に当たっての留意点等 |
|------------|---------------------|---|
| 採卵鶏 肉用鶏 | 糊米(玄米)を粒のまま利用可能 | <ul style="list-style-type: none">・ 採卵鶏の場合、卵黄色が低下(卵の栄養には問題がなく、淡い卵黄色をブランドとして利用する取組もあり。パプリカ等の色素の添加で黄色の補正も可能)・ より高い配合割合で給与する場合、不足する栄養成分を調整する必要(特に糊米給与の場合は、蛋白質や脂肪が不足) |
| 豚 | 破碎等の加工処理した玄米(糊米)を利用 | <ul style="list-style-type: none">・ より細かく粉碎する方が消化性が向上・ 飼料用米の配合割合を高めると、脂肪酸(オレイン酸、リノール酸)の割合が変化することにより肉質が向上 |
| 肉用牛 乳用牛 | | <ul style="list-style-type: none">・ より細かく粉碎する方が消化性が向上・ 飼料用米を急に多給すると、ルーメンアシドーシス(ルーメン(第1胃)内が急激に酸性化し、正常な消化・吸収ができなくなる)が発生するおそれがあるため、家畜の様子を観察しながら徐々に配合割合を上げていくとともに、粗飼料を十分給与するなどの配慮を要する。 |

飼料用米の加工形態

【糊米】



【破碎した糊米】



【SGS】



【玄米】



【破碎した玄米】



飼料用米の畜種別供給量

○ 配合飼料メーカーによる飼料用の米の使用量(令和4年度)

| 区分 | 採卵鶏 | ブロイラー | 養 豚 | 乳 牛 | 肉 牛 | 合 計 |
|----------|---------|---------|---------|--------|--------|----------|
| 令和4年度使用量 | 42万トン | 40万トン | 41万トン | 7万トン | 4万トン | 135万トン |
| (割合) | (31.4%) | (29.9%) | (30.4%) | (5.1%) | (3.3%) | (100.0%) |

資料:飼料月報(公益社団法人配合飼料供給安定機構発行)。ラウンドの関係で合計等が一致しない場合がある。

○ 米の飼料としての特性

- ・ 米(玄米)の家畜にとっての栄養価(TDN※)は、とうもろこしとほぼ同等。
- ・ とうもろこしと比べオレイン酸が多い、カロチンが少ないなどの特性をふまえた畜産物が生産されている。
- ・ 畜種によって、家畜や畜産物へ与える影響が異なることから、配合割合に差がある。

※TDN:家畜が消化できる養分の総量。カロリーに近い概念。

配合飼料工場における飼料用米の利用事例

■ 飼料メーカーA飼料(株)における配合飼料製造(牛・豚・鶏用)

搬入・受入

製造計画に応じて必要な量の飼料用米(玄米)を工場外でバラ化して搬入

- ・産地を指定して配合する場合は、個別に管理する必要
- ・数量が少ないため、ライン搬入されているとうもろこしと異なり、10tトラックで副原料用の受入口に投入



- ・200tタイプのサイロ2本を使用して一時貯留



(搬入される玄米)



粉碎加工

玄米を粉碎加工した後、ラインで送り他の原料と混合

- ・牛・豚用配合飼料に用いる玄米は、消化性を高めるため、粉碎機で粉碎
- ・鶏用は、粉碎した玄米と丸粒のままの玄米を適度に配合して利用
- ・玄米の粉碎は、細かく碎くことのできるハンマー型粉碎機を使用



(破碎した玄米)



原料の配合・搬出

通常の配合飼料と同様に飼料用米を含む配合飼料を搬出

- ・バラ出荷設備で搬送車に積み込み、畜産農家に出荷



- ・畜産農家においては、飼料用米の配合飼料を加工調整せず、そのまま家畜に給与

(飼料用米を配合した飼料)



自家配合などで工夫して飼料用米を給与している事例

粒のまま給与

■ 青森県 トキワ養鶏(採卵鶏)

粒米を粒のままで、自農場で他の原料と配合して給与。

(飼料用米の配合割合:68%)



■ 大分県 鈴木養鶏場(採卵鶏)

粒米を粒のままで、自農場で他の原料と配合して給与。

(飼料用米の配合割合:30%・40%)



加工(破碎・圧ペん等) して給与

■ 千葉県 ブライトピック千葉(養豚)

自農場で玄米を破碎

↓

食品残さと混合して液状化飼料
(リキッドフィード)を製造

↓

肥育豚に給与

(飼料用米の配合割合:10%)



■ 岐阜県 真井牧場(酪農)

自ら開発した破碎機で粒米を破碎し、他の飼料原料と配合して給与。

[飼料用米の給与量:8kg/日]



発酵させて給与(SGS)

■ 山形県 真室川町農協

生粒米を破碎(既存の穀殻膨軟化処理機(プレスパンダ-)を活用)

↓

水と乳酸菌を加え密封し約2ヶ月かけてサイレージ発酵・長期保存可能

↓

畜産農家(酪農、肉用牛)に供給

【収穫後】



【破碎後】



【SGS】



SGSとは

収穫した飼料用米(粒米)を乾燥させることなく、粉碎・加水・密封してサイレージ発酵させた飼料。

嗜好性や保存性に優れ、飼料用米の利用拡大や、濃厚飼料の代替として注目。

* SGS: ソフト・グレイン・サイレージ
(Soft Grain Silage) の略